

わが職場

扶桑建材工業株式会社は、総合水処理企業である扶桑建設工業株式会社（現在：株式会社フソウ）の子会社として1978年に設立いたしました。

住宅資材の販売とビル用サッシの施工を手がけていく中で、時流に合わせてお客様のニーズに合わせるべく、外装工事、金属工事、防水工事等、様々な専門工事へと領域を広げ、2000年にはリフォーム事業を開始、現在は修繕だけでなくリノベーションや新築まで請け負う、総合建材会社として事業を展開しております。

建設業界を取り巻く環境は、少子高齢化における人口減少によって、新設住宅着工戸数の減少や労働力の低下と、縮小の一途をたどっており、決して楽観視できる状況ではありません。

このような状況を追いつ風に変えるべく、弊社は2020年までのロードマップを策定し、会社の方針やあるべき姿を社員に共有。2015年度は『継続的に儲かる仕組みづくり』を掲げ、「全社員が数値意識を持ち、主体性を持って行動する」

「3S（整理・整頓・清掃）活動を他社に広める」「社員研修の強化」「安全意識の徹底」の四点に注力し、売上高と売上総利益とも目標を達成することができました。

その中でも、「3S（整理・整頓・清掃）活動」では、安全・快適・能率的な職場環境を創造するため、2014年から始めたもので、「ムダ・ムラ・ムリ」を排除することで、業務の改善と生産性の向上につなげております。

3S活動は、直接的には利益を生み出すものではありませんが、環境が整い、作業効率が良くな

ることで、社員自らが問題解決をする習慣が身に付き、人間力がアップし成長していきます。弊社でも、3S活動を約2年間継続することで社員に改善意識が芽生え、一人ひとりが創意工夫して業務に取り組めるようになりました。

2016年度は、『需要の創造と人づくり』を掲げ、お客様のニーズに応えるため、各部門が変化し、新商材の取扱いや新店の開拓に取り組み、3S活動を通じて「人づくり」に努め、積極的に改善を積み重ねることができる人材を育て、全社員一丸となって『四国オニリーワン』の総合建材会社』になるという目標に向かって邁進いたします。

扶桑建材工業株式会社

代表取締役社長

辻井 憲治